

2021年度 環境経営レポート

＜対象期間： 2021年4月～2022年3月＞



2022年5月13日 発行

株式会社ヤマモト

目次

1.組織の概要	・ ・ ・	P1
2.対象範囲	・ ・ ・	P2
3.実施体制	・ ・ ・	P3
4.環境方針	・ ・ ・	P4
5.環境目標	・ ・ ・	P5
6.環境活動計画	・ ・ ・	P6
7.環境目標の実績	・ ・ ・	P7
8.環境活動の取組結果と評価・次年度の取組内容	・ ・ ・	P8
9.環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟の有無	・ ・ ・	P10
10.代表者による全体の評価及び見直し・指示	・ ・ ・	P11

1. 組織の概要

1. 事業社名及び代表者

株式会社ヤマモト
代表取締役社長 山本 茂

2. 所在地

本社／マツダオートザムヤマモトにのへ
岩手県二戸市堀野字長地31番地2
スズキアリーナにのへ
岩手県二戸市堀野字長地28番地2
マツダオートザムヤマモトあおば
青森県八戸市青葉三丁目3番地12
スズキアリーナ盛岡北（2019年8月24日オープン）
岩手県滝沢市巣子91番地15

3. 事業内容

マツダ・スズキブランドの乗用車・商用車の新車販売
中古自動車販売
部品・用品などの販売
自動車整備業
レンタカー事業
損害保険代理業 等

4. 事業の規模

①店舗数	4店舗
②従業員数	46人
③年間売上高	12億6,522万円
④年間新車販売台数	298台
⑤年間中古車販売台数	258台
⑥年間整備在庫台数	12,731台
⑦延べ床面積	2,318㎡

5. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	専務取締役	
	山本 卓也	TEL:0195-23-8111
EA21環境推進事務局	業務部長	
	月舘 義昭	TEL:0195-23-8111

2. 対象範囲

1)対象範囲

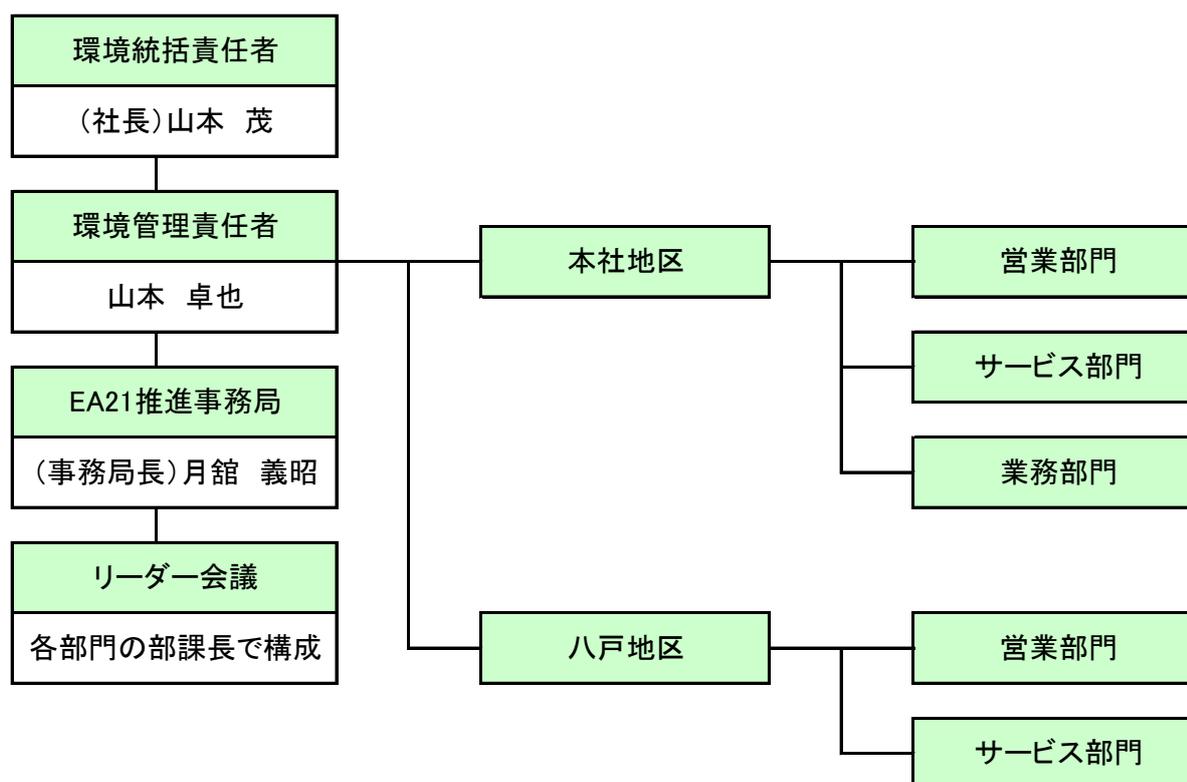
	対象範囲	店舗名	所在地	電話番号
1	◎	本社／マツダオートザムヤマモトにのへ	岩手県二戸市堀野字長地31番地2	0195-23-8111
2	◎	スズキアリーナにのへ	岩手県二戸市堀野字長地28番地2	0195-23-2211
3	◎	マツダオートザムヤマモトあおば	青森県八戸市青葉三丁目3番地12	0178-45-5101
4		スズキアリーナ盛岡北 (2019年8月24日オープン)	岩手県滝沢市巣子91番地15	019-601-7501

※スズキアリーナ盛岡北は2023年4月拡大予定

2) 対象となる事業

マツダ・スズキブランドの乗用車・商用車の新車販売
中古自動車販売
部品・用品などの販売
自動車整備業
レンタカー事業
損害保険代理業 等

3.実施体制



担当者	役割
環境統括責任者	環境マネジメントシステム(以下EMS)の運用・維持を統括する <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施体制を構築し必要な経営資源(人材・設備・資金)を準備する ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境経営方針を策定し全従業員に周知する ・ 全体的な取組状況を評価し、見直し、必要な指示をする ・ 経営における課題とチャンス明確化
環境管理責任者	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する (※環境統括責任者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲) <ul style="list-style-type: none"> ・ EMSの構築 ・ EA21推進事務局長の任命 ・ 環境目標、実施体制、環境活動計画の承認 ・ 環境活動の取組結果を承認 ・ 環境活動の取組結果を環境統括責任者へ報告 ・ 環境活動レポートの作成
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、全社の環境取組を推進する <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境目標、実施体制、環境活動計画の設定 ・ 環境活動の取組指導・支援 ・ 環境活動の取組結果の取り纏め、環境管理責任者へ報告
リーダー会議 各部門の部課長で構成	全社の環境取り組みを推進する <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当部門の責任者として、環境取組の推進・管理 ・ 社員への教育、訓練の実施
社員	各部門長の指示のもと環境活動計画を実践する <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・ 環境システムについて問題点、改善策を事務局に報告

4. 環境経営方針

<基本理念>

株式会社 ヤマトは、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、積極的に環境負荷の継続的な低減に努め、持続的に発展できる豊かな循環型社会づくりに貢献します。

<行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守します。
2. 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
5. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
6. エコカーの拡販、エコ整備の普及を通じ、環境への負荷軽減に貢献します。
7. グリーン商品の購入、有害化学物質の適正な管理に努めます。
8. 全従業員にこの環境経営方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、公表します。

2011年 11月 1日 制定

2012年 11月 1日 改定

2021年 9月 13日 改定

株式会社ヤマト

代表取締役

山本 茂

5. 環境目標

1. (株)ヤマモトの取組方針

- 事業活動で生じる環境負荷の中で、特に影響の大きい以下の項目について、削減に取り組む。
 - ・電力使用量 ・自動車燃料使用量 ・一般廃棄物排出量 ・産業廃棄物排出量 ・水使用量
 - ・化学物質使用量
- 環境に優しい循環型社会に貢献するため、以下の項目に取り組む。
 - ・エコ整備の拡大(エコオイル、低燃費タイヤ) ・エコカー販売の拡大

2. (株)ヤマモトの環境目標

EA21負荷の自己チェック コア指標		基準年度		年度目標					
		2019年		2020年		2021年		2022年	
		実績		基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比	目標値
二酸化炭素 排出量	電力	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	70,186	99%	69,484	98%	68,782	97%	68,080
		使用電力量 (kwh)	134,198	99%	132,856	98%	131,514	97%	130,172
	化石燃料	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	143,412	99%	141,978	98%	140,544	97%	139,110
		ガソリン(ℓ)	18,605	99%	18,419	98%	18,233	97%	18,047
		軽油(ℓ)	12,135	99%	12,014	98%	11,893	97%	11,771
		灯油(ℓ)	17,489	99%	17,314	98%	17,139	97%	16,964
		液化石油ガス/LPG(kg)	8,440	99%	8,356	98%	8,271	97%	8,187
排出量合計 (kg-CO ₂)	213,598	99%	211,462	98%	209,326	97%	207,190		
廃棄物 排出量	一般廃棄物	排出量(kg)	5,519	99%	5,464	98%	5,409	97%	5,354
	産業廃棄物	排出量(kg)	22,390	99%	22,166	98%	21,942	97%	21,718
	排出量合計(kg)	27,909	99%	27,630	98%	27,351	97%	27,072	
排水量	水使用量	排出量(m ³)	925	99%	915	98%	906	97%	897
化学物質 削減量	使用量削減	使用量(kg)	157	100%	157	100%	157	100%	157
環境配慮製 品 販売促進	エコオイル	仕入量(ℓ)	14,640	102%	14,933	104%	15,226	106%	15,518
	エコタイヤ	仕入量(本)	1,141	102%	1,164	104%	1,187	106%	1,209
	エコカー販売	販売台数(台)	175	102%	179	104%	182	106%	186

環境責任者 山本 卓也

(注)購入電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力の2019年度実排出係数0.523kg-CO₂/kWhを使用

6. 環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

- 1) 電力使用量の削減
 - ☑照明／空調機器の定期清掃
 - ☑退社時の照明/空調/OA電源停止
 - ☑冷暖房の温度設定管理
 - ☑クールビズ/ウォームビズの徹底
 - ☑屋外照明の点灯/消灯時間設定を毎月見直し
- 2) ガソリン使用量の削減
 - 納車引取の削減(来店入庫の促進)
 - ☑代車の満タン貸し・満タン返し徹底
 - エコドライブの啓発

2. 廃棄物排出量の削減

- ☑機密文書リサイクル便の積極活用
- ☑発泡スチロール/食品トレイの分別
- ☑両面コピー等による紙使用量の削減
- 廃バンパーリサイクルの推進
- ☑廃バッテリーリサイクルの推進

3. 水使用量の削減

- ☑給水栓に節水啓発の掲示設置
- ☑水流し音発生器の設置、管理

4. 化学物質使用量の削減

- 低VOC塗料・シンナーへの切替

5. その他の取組

- ☑エコ整備(エコオイル/低燃費タイヤ使用)の推進
- ☑エコカーの提案
- 街路歩道の清掃、除雪

定期清掃



照明機器の定期清掃 エアコンフィルター

廃棄物のリサイクル



廃バンパーのリサイクル・機密文書のリサイクル

エコカーの販売



マツダ クリーン
ディーゼル搭載車

スズキ
ハイブリッド搭載車

地域の環境美化



地元振興会でのプランター設置活動

環境責任者 山本 卓也

7. 環境目標の実績

2021年4月-2022年3月運用期間の実績

■環境負荷低減項目 * 目標達成率% = 目標 ÷ 実績 × 100

項目	単位	目標	前年実績	本年実績	目標達成率	前年比	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	209,326	203,409	209,417	100.0%	103.0%	○
電力使用量	kwh	131,514	143,623	167,534	78.5%	116.6%	×
ガソリン使用量	ℓ	18,233	17,232	16,477	110.7%	95.6%	○
軽油使用量	ℓ	11,893	10,293	11,309	105.2%	109.9%	○
灯油使用量	ℓ	17,139	18,627	19,199	89.3%	103.1%	×
液化石油ガス使用量	kg	8,271	5,105	2,196	376.6%	43.0%	○
一般廃棄物排出量	kg	5,409	5,878	5,008	108.0%	85.2%	○
産業廃棄物排出量	kg	21,942	17,605	37,827	58.0%	214.9%	×
水使用量	m ³	906	925	897	101.0%	97.0%	○
化学物質使用量	kg	157	157	133	118.0%	84.7%	○

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力の2019年度実排出係数0.523kg-CO₂/kWhを使用。

[評価の基準]

○: 目標値以上の削減

△: 前年度より削減したものの目標以下

×: 前年より増加

■環境配慮資材拡大項目 * 目標達成率% = 実績 ÷ 目標 × 100

項目	単位	目標	前年実績	本年実績	目標達成率	前年比	評価
エコオイル購入量	ℓ	15,226	12,000	14,000	91.9%	116.7%	△
低燃費タイヤ購入量	本	1,187	824	897	75.6%	108.9%	△
エコカー販売台数	台	182	113	114	62.6%	100.9%	△

[評価の基準]

○: 目標値以上の増加

△: 前年度より増加したものの目標以下

×: 前年より減少

8. 環境活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 電力使用量の削減

①取組結果

基準年度(2019年度)実績の2.0%削減目標に対し、24.8%増加となった。

②要因

本社ガスエアコンの老朽化により令和3年12月電気エアコンに更改。また昨年も真夏日の日が多かった事に加え、前年同様に新型コロナウイルス対策の為、店舗建物内のこまめな換気を実施した事により、エアコン負荷が増大。基準年度実績に対し二戸で25.7%、八戸で22.4%の増加となった。使用量は増加したが、ガスから電気に切替えた事により、二酸化炭素総排出量は概ね目標数値を達成する事が出来た。

③次年度の取組

窓等の開閉調節にてエアコンの稼働時間を極力減らし、稼働時は冷房28度、暖房20度に設定。クールビズ・ウオームビズの徹底、照明器具のこまめな電源オフ等、日々の取組を継続していく。

2) ガソリン使用量の削減

①取組結果

基準年度(2019年度)実績の2.0%削減目標に対し、11.4%削減できた。

②要因

社用車、試乗車をエコカーを優先的に配備した事や、整備入庫の納車引取の削減や代車の満タン貸出、満タン返却の徹底等の取組の結果、消費量の削減に繋がった。

③次年度の取組

上記の取り組みを今後も継続していく。

3) 軽油使用量の削減

①取組結果

基準年度(2019年度)実績の2.0%削減目標に対し、6.8%減少した。

②要因

例年同様、出張など長距離で社用車を使用する際は、クリーンディーゼル車を中心に使用したが、中古車販売におけるクリーンディーゼル車の割合が減少し、納車時の給油件数も減少。このようなことが要因で軽油使用量が減少した。

基準年(2019年度)と比べ、ガソリン使用量が2,128ℓ減少し、軽油も826ℓ減少した。自動車燃料全体の使用量も削減出来ている。

③次年度の取組

日々の取組を今後も継続していき使用量の削減に努める。

2. 廃棄物排出量の削減

1) 一般廃棄物の削減

①取組結果

基準年度(2019年度)実績の2.0%削減目標に対し9.3%減少した。

②要因

カタログ等の発注管理による廃棄の削減、ダンボールの再利用や、裏紙の使用など日々取組んだ事で減少した。

③次年度の取組

日々の取組を今後も継続していく。

2) 産業廃棄物の削減

①取組結果

基準年度(2019年度)実績の2.0%削減目標に対し68.9%増加した。

②要因

定期的な回収ではなく、ある程度の量が溜まったら回収を依頼している為、年度によって排出量が多くなったり、少なくなったりする。

③次年度の取組

今後も下廻り防錆塗装等の提案に力を入れ、金属部品を長持ちさせる事で、顧客満足度の向上にも繋げていく。

3. 水使用量の削減

①取組結果

基準年度(2019年度)実績の2.0%削減目標に対し3%の削減が出来た。

②要因

車両販売台数が基準年度(2019年度)より15.1%増加したが、納車洗車時や、日々のこまめな止水等の取り組みにより、削減することが出来た。

③次年度の取組

今後もこまめな止水に取り組んでいく。

4. エコオイル使用量の拡大

①取組結果

基準年度(2019年度)実績の2.0%増加目標に対し4.4%減少した。

②要因

前年同様、観光など車での移動、利用が減った影響等により、エコオイル使用量も減少した。

③次年度の取組

メンテナンスパックの提案を新車販売時と車検時に提案していく。

5. 低燃費タイヤ販売量の拡大

①取組結果

基準年度(2019年度)実績の2.0%増加目標に対し21.4%減少した。

②要因

エコオイル同様、新型コロナ感染拡大等が顧客の購買意欲にも影響しており販売量も減少した。

③次年度の取組

今後も、4月、11月のタイヤ交換時期に低燃費タイヤの提案を強化していく。

6. エコカー販売量の拡大

①取組結果

基準年度(2019年度)実績の2.0%増加目標に対し34.9%減少した。

②要因

2017年5月エコカー減税基準変更により、対象車種が減ってしまった事や、新型コロナ感染拡大等の影響による納車時期の遅延、顧客の買い控え等により、エコカー販売量も減少した。

③次年度の取組

新しい基準を満たしているエコカーの販売に一層力を入れていく。

9. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟の有無

1. 環境関連法規

環境関連法規	要求事項	評価
廃棄物処理法	・廃棄物の適正処理	遵守
自動車リサイクル法	・使用済自動車の適正処理	遵守
消防法	・特定施設の届出(少量危険物貯蔵取扱)	遵守(届出済)
PRTR法	・特定化学物質の排出量/移動量の把握	遵守(届出対象外)
水質汚濁防止法	・特定施設の届出(自動式車両洗浄施設)	遵守(届出対象外)
下水道法		遵守
騒音規制法	・特定施設の届出(コンプレッサー、塗装ブース)	遵守(届出済)
振動規制法	・特定施設の届出(コンプレッサー、塗装ブース)	遵守(届出済)
フロン排出抑制法	・管理第1種特定製品の簡易点検	遵守

2. 違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。
また、同様に訴訟等についても、1件もありませんでした。

10. 代表者による全体の評価及び見直し・指示

対象事業所	(株)ヤマモト 本社・マツダオートザムヤマモトにのへ・スズキアリーナにのへ マツダオートザムヤマモトあおば	活動期間	2021.4～2022.3
-------	---	------	---------------

評価者	代表取締役 山本 茂	実施日	2022.5.13
作成者	環境管理責任者 山本 卓也		

全体評価・コメント(環境経営システムの有効性・環境への取組の適切性等)	
2021年度は、12月に本社ガスエアコンの老朽化により電気エアコンに更改したため使用量の削減目標は達成出来なかったが、二酸化炭素の総排出量については概ね達成することが出来た。ガソリン、軽油水道の使用量削減についても日々の取組により目標を達成する事ができ、社内の環境活動に対する取組姿勢がいい方向に向かっているものと考えます。夏場の真夏日や冬場の冷え込みによる使用量への影響は外的要因のため避けることはできないが、夏季・冬季の空調機管理や日々の節電によりトータルの二酸化炭素排出量を削減できるよう取組んでいきたい。	
今期から、『SDGs』にも取組んでいくことから、全社員がより一層環境に配慮した取組を通し、総合的な環境負荷低減に繋がるべく推進をしていきたい。	

代表者による全体評価・見直し	見直し項目	変更の必要性	指示事項
	1 環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	現行の方針を継続しながら社会情勢等に応じて柔軟に対応する
2 環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	新年度より、新たにスズキアリーナ盛岡北を対象範囲に加えることと、本社のエアコンをガスから電気に更改した事により目標値の見直しをすること	
3 環境経営計画・取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	EA21の活動に加え、2022年4月から『SDGs』にも正式に取り組んでいく	
4 実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	スズキアリーナ盛岡北を対象範囲として取り組む	
5 その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
6 その他(外部への対応)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		